

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

685

災害医療体制強化事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	2	地域医療・健康危機管理体制の充実
取組方針	4	健康危機管理体制の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域医療対策費	
	大事業		地域医療対策事業	
中事業		災害医療体制強化事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域防災計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	総務企画課	山田原 尚生 488-5109
事業実施の根拠法令			関連課	総合防災課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	災害時において、市民が適切で迅速に医療を受けられるよう、医療機関及び関係行政機関、関係団体とともに医療救護体制を確立する。		災害時に医療機関が被災し、また、多くの傷病者が発生した場合でも、医療が継続できるよう医療機関及び関係機関とともに、訓練や意見交換を継続して実施し、医療救護体制の強化を図る。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	・災害医療全体会議開催（拠点・支援病院、救護拠点医療機関、医師会等） ・病院での本部訓練とEMIS入力訓練実施 ・透析医療機関会議開催 ・職員研修の実施 ・台風21号での対応と振り返り会議開催	・災害医療に関する全体会議、透析医療機関災害対策連絡会議、災害医療合同訓練事前研修会の開催 ・和歌山市災害医療合同訓練、災害時における初動訓練の実施	新型コロナウイルス感染症対応のため、業務を中止した。	意見交換会や訓練を通じて体制整備の充実を図り、研修で災害時対応の最新情報を習得させる。また、医療機関等対象の研修会を開催し、技術向上を図る。	意見交換会や訓練を通じて体制整備の充実を図り、研修で災害時対応の最新情報を習得させる。また、医療機関等対象の研修会を開催し、技術向上を図る。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,202	1,009	4,377	4,221	1,261	962	1,464	0	0	0
伸び率(%)	△3.9%	△11%	264.1%	318.3%	△71.2%	△77.2%	16.1%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	10,710	7,513	7,330	7,410	7,246	3,822	3,185	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	10,710	7,513	7,330	7,410	7,246	3,822	3,185	0	0
国庫支出金	186	186	180	0	177	0	282	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	3,100	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,016	823	1,097	4,221	1,084	962	1,182	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	1.34	0.94	0.91	0.92	0.91	0.48	0.40	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金428千円、通信運搬費396千円、管理委託料238千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
医療救護訓練(保健分野含む)の回数		回	目標値	6	4	4	4	
			実績値	6	2	0		
			達成度(%)	100%	50%	0%	%	
意見交換会の回数		回	目標値	3	4	4	4	
			実績値	4	2	0		
			達成度(%)	133.3%	50%	0%	%	
訓練参加人数		人	目標値	150	150	150	150	
			実績値	187	58	0		
			達成度(%)	124.7%	38.7%	0%	%	
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		○ 達成していない (70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		一定の貢献度がある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	医療救護本部における通信手段、移動手段の確保等の機能強化、また、研修会、訓練の実施や参加による人材の資質向上等を充実させていく必要がある。
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の資質の維持及び向上に努める。 ・ 専門医療分野の対策、連携強化を図る。